

テーマ「地域の方との連携による授業の取り組み」

カテゴリー：④連携（地域）

1. 学校概要：学校名：千葉県立野田看護専門学校 第二看護学科  
 所在地：千葉県野田市中根 3 1 6 - 1  
 課程名：2年課程 1学年定員数：40名 修業年限：2年

【内容】

- 1) 科目名：「地域コミュニティ演習」1年次前期（1単位 20時間）
- 2) 科目のねらい
  - (1) 地域コミュニティの在り方を学び、人はコミュニティの中でどのように生き、生活するのか、また社会と自身の関係性を理解する。
  - (2) 地域におけるフィールド学習や地域人材の協力を得ながら、地域への関心を高める。
- 3) 科目目標
 

身近なコミュニティに参加しながら、地域コミュニティの在り方を理解し、地域社会の理解を深める。
- 4) 授業内容と実際
 

「地域コミュニティを考えるプロジェクト」（プロジェクト学習）



図1 地域コミュニティを考えるプロジェクト（ビジョン・ゴールと提案テーマ）

R5年度は参加団体以外に市職員も参加し、活発な意見交換がなされた。

参加団体：①環境や自然を育てる団体	②公益社団法人 A青年会議所
③子ども食堂	④NPO法人 就労支援団体

表1 授業内容と方法

次	内容	方法
1・2	地域コミュニティとは 地域に関する情報収集 課題発見/ビジョンゴール/戦略	講義・演習
3～6	地域活動への参加 団体や地域住民との関わり	フィールドワーク
7・8	俯瞰・報告書まとめ	個人・GW
9・10	提案をプレゼンテーションする・成長報告書作成	発表会

学生は、初めに「地域コミュニティ」に関する基礎知識を学び、その後、本プロジェクトに参加する。プロジェクトの目指すビジョン・ゴールについて説明を受け、その後、参加団体に関する情報や市の現状を調べ、それらの情報から課題を発見し、フィールドワークを通して実際に地域の方々と触れ合う中でさらに課題を明らかにし、最終的に体験からの気づきも含めてビジョン・ゴールに向かって提案（図1 No.1～No.5）をまとめる。この一連の活動を通して、学生は、主体的に①課題発見力②思考・分析する力③発信力④人と関わる力⑤協働する力（チームワーク）を学ぶ機会となる。

また、本学科では、最終的な発表会に参加団体の方々を招き、学生と地域の方々との間でディスカッションを行う機会を設けた。

5) 授業評価

地域との連携・協力のもとコミュニティ演習は、各学校でも取り組まれており、体験学習は行われている。当校では、学生の提案書の発表会に市職員や参加団体の方に参加して頂き、その場で意見交換できたことで学生にとっても地域への関心度が高まった。より良くしていきたいとの思いから、その後もボランティア活動に継続参加している学生もいる。看護の視点からも「生活者」という視点での対象の捉えにつながる学習になっていると評価する。